2027 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	クラウンブリッジ補綴学講座
主任教授	関根秀志
プログラム責任者名 （プログラムの管理・運営）	関根秀志、久永竜一、野本 俊太郎、四ツ谷護
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医、日本歯科審美学会認定医 日本接着歯学会認定医、日本デジタル歯科学会専門医 日本口腔インプラント学会専修医・専門医
研修期間（入学時期）	原則として１年間。目標到達の程度により最長５年間までとする。（４月）
受入れ人数（総数）	年　４名程度
指導医	関根秀志、久永 竜一、野本 俊太郎、四ツ谷護、酒井貴徳、黒田祥太、 平野瑞穂、大和田碧
修了の認定要件	治療を終了した指定された症例の報告書を作成すること。 研修会、症例発表、臨床実技・技工操作実技での評価に合格すること。

プログラムの目的

歯科臨床にかかわる全般的知識の習熟と、補綴治療とくにクラウンブリッジ領域の知識および技能の修得。また、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士を指導できる人材の育成を目的とする。
日本補綴歯科学会認定研修機関の在籍要件を満たすものとする。

ユニット

補綴科（クラウンブリッジ補綴学講座）の臨床専門専修科プログラム
①研修会（講習会、勉強会、症例検討会、若手対象レクチャーなど）への参加
②症例発表 ③臨床実技、技工操作実技

一般目標（GIO）

日本補綴歯科学会（必須）、日本歯科審美学会（任意）、日本接着歯学会（任意）、
日本デジタル歯科学会（任意）、日本口腔インプラント学会（任意）の各学会認定資格を取得するための知識および技能を修得する。

行動目標（SBOs）

歯科臨床にかかわる全般的基礎知識を修得し、適切な治療計画の立案ができる。
補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な補綴治療が行える。
補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な治療結果の評価ができる。

方略（ＬＳ）

講義・実習：　①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技
ケーススタディ：①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技
臨床実習：　③臨床実技、技工操作実技

評価（ＥＶ）

総括的評価、観察記録、口頭試問：　①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技

プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準

日本補綴歯科学会の認定医申請には認定研修施設所属歴1年以上、学術大会3回出席、多肢選択式筆記試験合格を満たさなければならない。補綴治療症例10症例，ケースレポート10症例が必要。
日本歯科審美学会認定医取得には会員歴5 年以上（日本補綴歯科学会専門医は3 年以上）、学術大会出席、論文・口演発表、ケースプレゼンテーション合格が必要。
日本接着歯学会認定医取得には会員歴5 年以上、学術大会出席、論文・口演発表が必要。
日本デジタル歯科学会専門医には会員歴3年以上、学術大会出席、認定研修、ケースプレゼンテーション症例発表、専門医試験（筆記・実技）合格が必要。
日本口腔インプラント学会専修医取得には会員歴2 年以上、学術大会参加・発表，2 年経過症例5 例提示、ケースプレゼンテーション試験合格，ケースプレゼンテーション論文の誌上発表が必要。

問い合わせ先	関根秀志　（sekine@tdc.ac.jp） 野本俊太郎　（nomotos@tdc.ac.jp）